



成人図書室だより 10・11月号

今年度の成人図書室だよりは、「暮らしの歳時記」というテーマで本をご紹介します。

11月 火の用心

- だんだんと寒くなるこの季節。
- ストープの火にあたってほっこりしたいですね。
- けれど油断は大敵。寒くなると同時に空気が乾燥するので、火事のニュースに接することも多くなります。
- ストープの周辺に衣類など燃えやすいものは置かない、電化製品の電気プラグに溜まったほこりを放置しない、などふだんよりも気を付けて過ごしましょう。
- 火の用心、カンカン。



参考文献『日本の365日 季節の道しるべ』（日本気象協会／著 マガジンハウス）P211

〈関連書籍をご紹介します〉



317.7
コ

図解よくわかる 火災と消火・防火のメカニズム

小林 恭一／編著

日刊工業新聞社 2015年

火が燃えるメカニズムから説明してくれるので、防火設備や避難方法のひとつひとつに納得がいきます。オフィスの防災担当になった人や、自宅の防火設備設置を考えている人にはうってつけの一冊です。



658.2
ニ

薪を焚く

ラーシュ・ミッティング／著

朝田 千恵／訳

晶文社 2019年

北欧では、極寒の冬をしのぐ暖房器具として薪ストーブを使う人が増えているそうです。時代遅れ？ いえいえ、薪はとっても優秀なんです。今年の冬は、エコで暖かくて、ほっこりする薪ストーブで乗り切りたくなるかも。薪を焚くときも火の用心をお忘れなく。

関連する図書は、他にもございます。

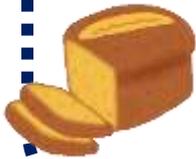
お探しの図書が見当たらない場合は、お気軽に窓口までおたずねください。



10月のテーマ展示から 「五感で楽しむ秋」



「〇〇の秋」の季節がやってきました！
食欲、スポーツ、芸術……。図書館の本で秋を満喫しませんか？



904
カ

古典とケーキ

甘い再読 愉悦の読書案内

梶村 啓二／著
平凡社 2021年

古典を読み直すことは、自分なりの新たな解釈を作品に与える行為だと語る著者の読書案内。作品への尋常でない愛の深さに驚きますが、語り終えてお腹が空いた著者が、作品にちなんだケーキを自分で焼いて食べるころの記述を読むと、著者を許せてしまう不思議な読後感です。漱石とイチゴジャム、レムと焼きメレンゲなどなど、私も試そうかな。

川瀬巴水「芝増上寺」



732.1
タ

もっと知りたい

川瀬巴水と新版画

滝沢 恭司／著
東京美術 2021年

新版画は、浮世絵の技法を用いて大正・昭和期に制作されました。「昭和の広重」こと川瀬巴水は、風景版画を得意とした新版画を代表する作家で、本書は巴水作品をはじめとした多くの新版画作品をカラーで紹介しています。彫師・摺師と綿密に調整して完成された作品は、幻想的なまでに色鮮やかで、浮世絵や日本画とは違った魅力が味わえます。



782.3
ゴ

なぜ人は走るのか

ランニングの人類史

トル・コダス／著 楡井 浩一／訳
筑摩書房 2011年

「走る」と言っても色々あります。インカ帝国の繁栄を支えた伝令走者網、賭けの対象となり、タイムではなく順位が重要だった古代の徒競走、19世紀にパリーモスクワ間を14日間で走破した元船乗り、比叡山の千日回峰行、時計の発達で正確な時間計測が可能となった近代のアスリート。走ることの歴史は、人類の驚異的な可能性を教えてください。



11月のテーマ展示から 「不思議を解明しよう」



秋の夜長にミステリー。
この世の様々な謎を解き明かしてみませんか？

天目 てのひらの宇宙

阿部出版 2018年

南宋時代の中国で焼成されたが、世界でも日本の3点だけしか現存していない曜変天目（ようへんてんもく）茶碗。なぜ中国には残っていないのか、どのように焼けば星空のような模様と輝きを再現できるのか。本書は曜変天目をはじめとした美しい陶磁器の写真とともに、その不思議に迫ります。天目の再現にかける現代の陶芸家たちの熱意に注目！

751.1
テ

普段は大型のコーナーに置いてあります



陰謀の日本中世史

呉座 勇一／著
KADOKAWA 2018年

「本能寺の変の黒幕は家康だ」「いや、秀吉だ」。私たちは歴史上の事件の黒幕を見つけることが大好き。本書は本能寺の変や関ヶ原の合戦など日本中世史上の事件についてささやかれてきた、そうした陰謀論的な説を歴史学の俎上にあげて検討していきます。「黒幕がいた方がロマンがあるなあ」と思いつつも、不思議を解明するときの歴史学の厳密さや論証の鮮やかさに感心します。

210
ゴザ



小暮写真館（上・下）

宮部 みゆき／著
講談社 2013年

高校生の英一の新居は元写真館。父親の気まぐれで写真館の看板やショーウィンドウを残したことが災いし、英一のもとに女の生首が映り込んだ心靈写真が持ち込まれます。英一が事情を探ると、被写体の家族は3年前に焼死していたことが分かり……。謎を解くために宗教施設にも平気で乗り込んでしまう英一の危なっかしさに手に汗握る、ちょっぴりホラーなミステリー。

J
ミヤ

普段は文庫のコーナーに置いてあります



テーマ図書は、カウンター横の書棚に多数展示しています。
お探しの図書が見当たらない場合は、お気軽に窓口までおたずねください。

2023 年秋

読書の記録

日付	書名	著者名	メモ

成人図書室よりお知らせ

●ビブリオバトル 観戦者募集

令和5年10月29日(日)10:30から、1階児童図書室にて、ビブリオバトルが開催されます。ビブリオバトルとは、発表者（バトラー）がおすすめの本の魅力を5分間で紹介し、投票でチャンプ本（優勝）を決める書評バトルです。今回はティーン（10代）におすすめの本というテーマでバトルが行われます。観戦者には発表を聞いて、投票していただきます。**観戦は当日自由参加で年齢制限はありません**（先着30名）。新しい本と出会いたい方、熱き戦いを見たい方、ぜひご参加ください。



京都市中央図書館

〒604-8401 京都市中京区聚楽廻松下町9番地の2

☎075(802)3133

※京都市図書館の事業は（公財）京都市生涯学習振興財団が実施しています

■開館時間

平日：9時30分から20時まで（児童図書室は17時まで）

土日祝日：9時30分から17時まで

■休館日

毎週火曜日、年末年始